

宮平区

宮平(な一でーら)は南風原町のほぼ中央に位置しています。学校や公園にも隣接し、都市化が進み、大手スーパー、映画館、マンション、アパートが進出しているほか、人口は年々増加しています。

また、現在宮平保育所が建っている場所は、琉球王国時代には番所、そして戦前には南風原村役場が置かれ、南風原の中心地だった場所です。今でも地中には古井戸や石畳、排水溝など琉球王国時代の遺構が保存されています。

宮平自治会の大きな事業として「餅つき大会」「綱引き夏祭り」「敬老会・十五夜祭り」があります。首里王府から拝領された伝統芸能文化である「宮平獅子舞」は、毎年敬老会・十五夜祭りで披露されています。

「宮平獅子舞」の継承にあたり、小中学生を対象とした子ども獅子舞や三線(地謡(じうてー))の練習をおこない、コミュニケーションを図っています。

獅子舞に興味のある方は、ぜひ宮平シーサー館に遊びに来てください!



▲三線(地謡練習)



▲子ども獅子舞

伝統文化の運営・継承の担い手として

南風原町の旧字には、綱引きや十五夜遊び(獅子舞、棒術、舞踊)、腰ゆくいなど、中には300年の古くから続く伝統行事が綿々と受け継がれています。これは準備運営から費用確保まで自治会が担っています。子どもたちにとってこれら行事への参加・体験はきっと故郷の原風景としての貴重な思い出づくりになるでしょう。



宮城区

宮城(な一ぐすく)は、南風原町の北東に位置しています。西原町・与那原町と隣接し、南風原北インターや与那原バイパスに接しているため、交通の利便性が高い地域です。

宮城には羽衣伝説が伝えられており、天女が沐浴したとされる町指定文化財の「御宿井」(うすくがー(井泉))があります。また御宿井の周辺は、これまでに発掘調査もおこなわれています。その結果、御宿井の改修作業で見つかった石畳がおおよそ300年前につくられたことが判明したほか、500年以上前の「グスク時代」とよばれる時代にあたる陶磁器や香炉などが出土しています。

宮城の綱曳きは、旧暦6月15日のウマチー綱と旧暦6月26日(新暦に置き換えた週の日曜日)の大綱曳きの2回行われます。令和3年からは、伝統行事として継続していくため、宮城綱曳実行委員会を設置して運営しています。綱曳きは、区民共通の行事として一体感を生み、さらに世代を超えた交流の機会となっています。



▲綱曳き



▲ウスクガーで見つかった石畳

大雨や台風にも早めに備えましょう

【問】総務課 ☎: 889-4415

大雨や台風の季節です

台風や前線による大雨が発生しやすい季節となっており、さらに近年は、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨も頻発しています。

そのような中、南風原町においても崖崩れや川の急激な増水、道路や住宅の浸水が発生する可能性があり、自然災害に対する備えが重要となってきます。

気象情報に注意して、早めに防災対策・避難行動を行いましょう

災害から命を守るためには、国や都道府県が行う対策などの「公助」だけでなく、私たち一人一人の「自助」、すなわち、災害に対する備えをしておく、危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための防災行動を起こすことが重要です。

そのような「自助」のために役立つのが、気象庁が発表している気象警報・注意報などの「防災気象情報」です。

皆さんが早めの防災行動をとれるよう、気象庁は大雨や台風などに関する防災気象情報を随時提供しています。

また、南風原町避難誘導マップや避難所一覧も町ホームページから確認できますので、是非ご活用ください。

南風原町内河川に設置されている河川カメラ映像が確認できます

宮平川河川カメラ映像と沖縄県河川情報システム映像(国場川、長堂川)が確認できます。

雨天時の際にご活用ください。



←町避難誘導マップ および避難所一覧



←南風原町内河川のカメラ情報

警戒レベル	新たな避難情報等
5	緊急安全確保※1
<警戒レベル4までに必ず避難!>	
4	避難指示※2
3	高齢者等避難※3
2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	早期注意情報(気象庁)

戦争遺跡シンポジウムと関連企画のお知らせ

【問】生涯学習文化課(文化センター) ☎: 889-7399

南風原町が黄金森に所在する陸軍病院壕の本格的な調査を開始して、今年で30年になります。

この節目に合わせ、南風原町が歩んできた病院壕の保存・活用の取り組みを振り返りつつ、県内外の戦争遺跡の活用事例もご紹介いたします。

- 6月13日～8月: 陸軍病院壕・戦争遺跡に関する企画展
- 7月14日(日): 陸軍病院壕のこれからを考えるシンポジウム
- 8月4日(日): 県内の戦争遺跡の調査成果を学ぶ文化講座
- 8月11日(日): 戦争遺跡の教育利用を考えるシンポジウム

場 所 南風原文化センター(企画展・文化講座会場)
南風原町中央公民館(シンポジウム会場)

料 金 無料

対 象 どなたでもご参加可能

定 員 シンポジウム(500名)・文化講座(50名)ともに当日先着順

主 催 南風原町、自治総合センター



琉球かすり

研修生募集します

琉球絃事業協同組合では毎年、琉球絃の後継者育成のための研修を行っており、令和6年度の研修生を募集します。

研修期間 令和7年2月中旬まで(予定)
※研修は土日祝を除く平日のみ(10時～16時まで)

※研修生の進捗状況によって研修期間変更の可能性あり

研修内容 織りを中心とする琉球絃の総合的学習
※未経験者も可能です

定 員 若干名

申込み 琉球絃事業協同組合へ電話でお問い合わせ

料 金 無料

お問い合わせ先
琉球絃事業協同組合
098-889-1634